

大規模改修で利用料値上げ!?



大改修後の外観イメージ

プール500円⇒600円
卓球場400円⇒500円
弓道場300円⇒400円

現在行われている9月会議に提出されている総合スポーツセンター条例の改定案は、利用料の値上げ、駐車場の有料化などが提案されています。

区は「受益者負担の観点から、改修工事によるサービスマスのレベルアップをふまえ、減価償却分を値上げ」また「区外団体の新料金を設定」するとしています。

プールの個人利用を2時間500円から600円に値上げ、団体利用も平均15%の値上げ案です。

これまでプールの個人利用料値上げが要望されていました。23区で500円を超えるのは3区のみ、400円以下が12区で圧倒的です。

公の施設は区民生活に欠かせない



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています
日本共産党荒川区議団
小林行男
ご意見をお寄せください

区政ニュース

NO. 742
2019. 9. 15
区議会控室
TEL 3802-4627
FAX 3806-9246
Email: arajcp@tcn-catv.ne.jp
ホームページ
http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcp/para/
東尾久相談室
東尾久2-37-3
TEL・FAX 3895-0508

高齢者と障害者の免除は継続に！
小中学生の利用料は据え置きに。体育の日は無料開放

利用料	現行	改定	団体値上げ幅(1コマ)
大体育館(3H)	500円	600円	2500~4400円
小体育館(3H)			1000~1800円
ライフル(3H)			300~500円
プール(2H)	400円	500円	大・小とも 3000~5300円
武道場(3H)			400~700円
卓球場(3H)			600~1100円
トレーニング(3H)	300円	400円	—
弓道場(3H)			400~700円
ホール			1600~2600円
多目的室	—	—	300~800円

ものです。利用料を減価償却だけで決めているものではありません。消費税増税や物価上昇の中で今値上げをしようか。値上げの再検討を求めたいと思います。



台風15号、荒川区内にも猛威ふるう



9日早朝、首都圏を直撃した台風15号。記録的な暴風が吹き荒れ、千葉県千葉市で最大瞬間風速57.5メートルを観測しました。大規模な停電も発生して大変な被害が起きています。

荒川区内でも

80代の女性が強風にあおられ転倒軽傷を負う。
また、物的被害は72件。樹木の倒壊、フェンス、壁が落ちる、トタンが剥がれる、看板が飛ばされたなどです。

最近全国各地でおこる自然災害!あらゆる災害に備えたいものです。



法律相談会



毎月第3火曜日(午後6時から)北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。できるだけ事前にご連絡ください。

**9月の相談会は、
9月17日(火)**

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所と連絡して、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

この店は禁煙?はっきり表示!(東京都・受動喫煙防止条例)



禁煙店(上)
喫煙可能店(下)



東京都の受動喫煙防止条例に基づき、都内の飲食店は、9月1日から受動喫煙防止条例によって、たばこが吸えるかどうか入り口でわかるよう、店頭表示することが義務づけられた。

都条例の内容は段階的に進められており、全面施行となる2020年4月には従業員を雇う飲食店は店舗面積にかかわらず屋内が原則禁煙となり、喫煙は専用室がある場合しかできない。

都によると、従業員を雇用して対象となるのは都内の飲食店の約84%に当たる約13万店に上るといいます。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、国際的にたばこ対策の強化が求められる中、東京都で



東京都の受動喫煙防止条例に基づき、都内の飲食店は、9月1日から受動喫煙防止条例によって、たばこが吸えるかどうか入り口でわかるよう、店頭表示することが義務づけられた。

は、2020年4月から全面施行を前に、9月1日から独自の受動喫煙防止条例を飲食店でスタート。

肺がんなど、日本の受動喫煙による年間死者数は、推定でおよそ1万5千人といわれています。

都は、健康への悪影響を未然に防止することを目的に、2020年4月以降、「原則 屋内での禁煙」を実施する予定です。

それまでの間、飲食店側も、表示方法や従業員の喫煙はどう対応したらいいかなど、さまざまな不安があるようです。

吸う人も吸わない人も快適な環境作りを目指してもらいたい。



自転車事故多発!秋の交通安全週間



死亡事故は、2月16日夜東尾久5丁目の都電の専用軌道の中で、都電と接触したものです。

区分	本年	前年	増減
歩行者	31	32	△1
自転車	108	106	2
原付	12	11	1
自二	12	16	△4
四輪	30	51	△21
特殊車	0	0	0
その他	0	0	0
計	193	216	△23

9月10日、荒川区交通安全対策協議会が開催されました。その中で今年上半期(1月から6月)の交通事故の発生状況、死傷者数などの報告がありました。昨年度と比べると発生件数、死傷者数とも減少しているものの相変わらず自転車事故の多さが目を引きます。また、年齢別に見てみると40代以降の方たちの割合も目立つように感じます。自転車の交通ルールやマナーなど繰り返し啓発していくことが大切のように思います。

荒川区交通安全運動 (9月21日~30日)

[スローガン]

世界一の交通安全都市TOKYOをめざして
運動の重点に、荒川区の道路事情や交通事情をふまえた自転車の安全利用の推進や高齢運転者の交通事故防止などを掲げています。

区分	本年	前年	増減	本年構成比
幼児	7	3	4	3.60%
小学生	16	10	6	8.30%
中学生	2	1	1	1.00%
高校生	1	6	△5	0.50%
19歳	0	6	△6	0.00%
20歳代	17	21	△4	8.80%
30歳代	23	32	△9	11.90%
40歳台	36	39	△3	18.70%
50歳代	31	32	△1	16.10%
60~64歳	13	9	4	6.70%
65歳以上	47	57	△10	24.40%
計	193	216	△23	100%

	発生件数	死者	重傷	軽傷	計
警察署					
荒川署	75	0	7	76	83
南千住署	50	0	5	48	53
尾久署	56	1	0	56	57
計	181	1	12	180	193
前年	198	0	17	199	216
増減	△17	1	△5	△19	△23



○先月の埼玉県知事選挙に続き、8日投票で行われた岩手県知事選挙でも市民と野党の共闘候補が勝利したことは、今後の全国の首長選挙にも大きな影響を与えるのではないのでしょうか。また、国政においても野党共闘の前進に繋がるものです。日本共産党は、党首会談を呼びかけ、政権構想などの一致点を広げるためにがんばります。

